

LIXIL とユニセフ、 「MAKE A SPLASH!」パートナーシップを通じて 290 万人の衛生課題 解決に貢献

衛生環境の改善に取り組むグローバルなパートナーシップをインド、インドネシア、ナイジェリアに拡大

株式会社 LIXIL（本社：東京都江東区、取締役 代表執行役社長 兼 CEO 瀬戸 欣哉、以下 LIXIL）と、国際連合児童基金（本部：米国ニューヨーク、事務局長：ヘンリエッタ・フォア、以下 ユニセフ）は、衛生環境の改善に取り組むグローバルパートナーシップの活動地域を新たに世界でも特に人口の多いインド、インドネシア、ナイジェリアの3カ国にも拡大することを発表しました。

本パートナーシップ「MAKE A SPLASH!」は、LIXIL とユニセフそれぞれの強みを活かして、2030年までに達成すべき持続可能な開発目標(SDGs)の目標6「すべての人びとの、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす」の実現を目指し、2018年に締結されました。過去3年間における活動を通じて、エチオピア、ケニアおよびタンザニアのコミュニティにおいて、290万人の衛生環境の改善に貢献してきました。これまでのパートナーシップを通じた活動の実績をふまえ、より多くの人びとの衛生環境の改善を目指し、活動地域を拡大します。

「MAKE A SPLASH!」パートナーシップは、衛生製品やサービスの入手可能性、価格、品質を向上させることで、何百万人もの人びとがアクセスできる持続可能な衛生市場を構築することを目的としています。対象国の拡大に加えて、パートナーシップの活動範囲も拡大し、以下に注力していきます。

- **より良い衛生の選択肢を人びとに提供**
ユニセフによる衛生需要喚起活動、LIXIL によるユーザーのニーズや好みに応じたソリューションの設計・供給を通じ、地域の人びとの能力を育成する活動を共同で行う
- **衛生関係者の機会創出を支援**
地元のサプライヤーや消費者を含む関係者が必要な資金を調達できるよう推進し、開発途上の衛生市場の成長を促す
- **政策や規程の作成をサポート**
各国の目標と戦略のモニタリングおよび評価を通じて実施

ユニセフの民間支援企画調整局長のカーラ・ハダッド・マルディニは次のようにコメントしています。「いまだに数多くの子どもたちとその家族が、安全で衛生的な設備を利用できない環境に置かれています。格差をなくし、世界中の子どもたちの健康を守るために、私たちはもっと活動を加速させなければなりません。持続可能な衛生課題の解決に向けて、お互いの強みを活かし、ビジョンを共有する『MAKE A SPLASH!』のような大胆で革新的なパートナーシップを必要としています。これまでの実績を基に、パートナーシップをさらに拡充することで、より多くの人びとに支援を提供できることを誇りに思いま

「MAKE A SPLASH!」は、ユニセフの水と衛生の分野における初のグローバル・シェアードバリュー・パートナーシップであり、ユニセフが日本企業とのこの種のパートナーシップを締結するのも初めてのことでした。両者は、子どもたちとその家族が屋外での排泄をなくし、手頃な価格で魅力的なソリューションを利用できる社会を目指すプログラムを通じ、より安全で清潔な衛生環境を推進しながら、途上国の衛生市場の確立に向け、地域コミュニティと取り組んできました。このようなマーケット主導型プログラムに加え、衛生経済の機会創出への関心を高め、開発の優先順位の検討と投資の拡大に重点を置いた共同提言を実施しています。現地での活動は、サプライチェーンや流通ネットワークの構築、地元の起業家や職人による製品の販売、設置、サービスの支援など、多岐にわたります。

LIXIL のコーポレート・レスポンシビリティ委員会の委員長を務めるジン・モンテサーノは次のようにコメントしています。

「LIXIL では、『世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現』をパーパス（存在意義）としています。ユニセフとのパートナーシップを通じて、私たちが提供する製品やサービスが、子どもたちやその家族のより安全な衛生環境の実現に繋がっていることを目の当たりにしました。この革新的なコラボレーションを通じて、多くの人びとに貢献できることに期待しています。また、すべての人びとに、安全なトイレと手洗い設備を届けることができるよう、現地で活動に参加し、私たちの取り組みを支えてくださるパートナーを歓迎します。」

ユニセフは、農村部や都市部で、また緊急時においても、世界で最も基本サービスが行き届いていない地域に対して 100 カ国以上で安全な衛生設備を提供する活動を展開しています。コミュニティを動員し、衛生用品やサービスの市場を構築し、政府と協力して衛生サービスの計画と資金調達を行っています。また、基本的なトイレを利用しやすくするための衛生技術の支援にも力を入れています。

LIXIL は、世界 150 カ国以上の人びとに、革新的なデザインと技術を活かした水まわり製品を提供しており、その中には、上下水道の整備が十分でない地域や家庭向けに、トイレや衛生用品を手頃な価格で提供する SATO ブランドも含まれます。SATO は、同社のコーポレート・レスポンシビリティ（CR）戦略の優先取り組み分野「グローバルな衛生課題の解決」に向けて最前線に立ち、整備が行き届いていないインフラや、所得水準の低さ、水不足など、新興市場のニーズや状況に合わせた研究開発と事業を行うソーシャルビジネスを展開しています。

昨年、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が発生した際、世界人口の 30%、およそ 3 人に 1 人が家庭に水と石けんを使った手洗い設備がない状況にありました。このような手洗いのニーズに応えるため、パートナーシップは活動範囲を急速に拡大しました。ユニセフは既存の手洗いソリューションに関する知識や情報の提供、新たな手洗いニーズや傾向を共有することでデザインプロセスに貢献しました。一方で SATO はそれらをブランドが有する市場のノウハウと組み合わせ、デザインのプロトタイプ制作を行った結果、LIXIL は水道がない場所でも使用できる手洗いステーション「SATO Tap™」を開発しました。「安価」で「シンプル」な SATO の特長を引き継ぐこの製品は 2020 年 6 月の発表以来、迅速かつ持続的な手洗い習慣の普及を推進しています。

「MAKE A SPLASH!」パートナーシップの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

About UNICEF

ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在 190 の国と地域※で、多くのパートナーと協力し、その理念を様々な形で具体的な行動に移しています。特に、最も困難な立場にある子どもたちへの支援に重点を置きながら、世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。（www.unicef.org） ※ユニセフ国内委員会（ユニセフ協会）が活動する 33 の国と地域を含みません

ユニセフは特定の企業やブランド、製品、サービスを推奨するものではありません

About LIXIL

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約 55,000 人の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社 LIXIL（証券コード: 5938）は、2021 年 3 月期に 1 兆 3,783 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL グローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://ja-jp.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>